

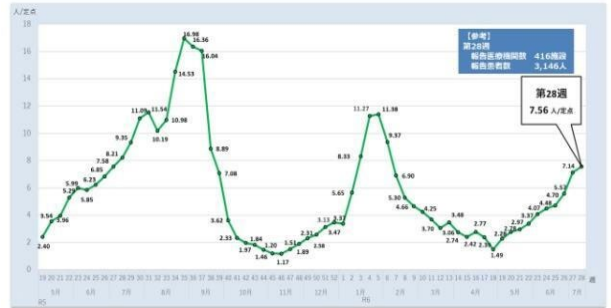
*** 今日の健康 (8月) ***

<コロナ感染拡大は第11波、免疫効きにくい新変異株が主流>

全国における7月28日までの1週間の新型コロナの患者数は、厚生労働省によりますと全国約5000の医療機関からの報告の集計は前の週から4669人増えて7万2003人となりました。この間の感染状況は1つの医療機関あたりの平均の患者数が14.58人で、前の週の1.07倍となり12週連続で増加しています。

東京都内で新型コロナ感染症についても同様に7月28日までの1週間の1医療機関あたりの感染者数は毎週連続して増加し9.13人で前の週の1.07倍となり12週連続で増加しています。

都道府県別では多い順に佐賀県が31.38人、宮崎県が25.98人、熊本県が25.46人、長崎県が24.94人、愛知県が23.25人などとなっていて、39の都道府県で前の週より増加しています。



コロナウイルスは、広がりやすいとされる変異株「K P・3」が主流で、過去の流行でも夏に感染拡大が見られていました。

1医療機関あたりの感染者数はインフルエンザでは流行時に注意報を出す基準の10人を越えています。流行中のK P・3は冬に多く検出されたオミクロン株「J N・1」から派生し、4~5月ごろに主流となりました。K P・3はJ N・1と比べ感染やワクチンによる免疫を逃れる力が強いという分析結果があります。

夏に感染が広がる背景

1. 暑さのためマスクをする人が少なくなる
2. 空調が効いた屋内で密な空間ができて、飛まつ感染が起きやすくなる

感染拡大防止策

1. 電車の中など混みあう場所ではマスクを着用する
2. 体調不良時には外出を控える
3. 発熱時は事前連絡をした上で医療機関を受診する

新型コロナは医療保健上、検査や治療の公費負担が無くなったことで、医療機関の受診を控える人がいる可能性があります。

高齢者は重症化するリスクが高いため、のどの痛みや発熱などの症状が出てきた場合は、ためらわずに医療機関を受診してください。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861
天文台通り もみじ山公園バス停裏